

再評価結果（原案）

○一般国道58号 浦添北道路

沖縄総合事務局開発建設部

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）（案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道 5 8 号 浦添北道路		事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自： おきなわけんぎのわんしあざうちどまり 沖縄県宜野湾市字宇地泊 至： おきなわけんうらそえしあざみなとがわ 沖縄県浦添市字港川				延長	2. 0 km
事業概要	沖縄西海岸道路は、国道58号、331号などの交通混雑緩和と那覇空港自動車道、那覇空港、那覇港と西海岸地域の各拠点を連結し、地域の活性化、地域振興プロジェクトに寄与する広域幹線道路で、読谷村から糸満市に至る約50kmの地域高規格道路である。また沖縄西海岸道路は、渋滞の緩和、交通事故抑制、観光支援並びに物流の効率化等を目的に策定されたハシゴ道路計画にも位置づけられている。浦添北道路は、その沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道58号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路として、浦添市周辺の渋滞緩和、地域交流の促進に寄与する宜野湾市字宇地泊から浦添市字港川に至る延長2.0 kmの道路である。					
H18年度事業化		H17年度都市計画決定		H20年度用地着手		H22年度工事着手
全体事業費		250億円	事業進捗率	約20 %	供用済延長	0km
計画交通量		26,000台／日				
費用対効果 分析結果	B／C (事業全体) 3. 8 (残事業) 4. 9	総費用 (残事業)/(事業全体) 173/223億円 事業費：166/217億円 維持管理費：7. 0/7. 0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 846/846億円 走行時間短縮便益：752/752億円 走行経費減少便益：72/72億円 交通事故減少便益：23/23億円		基準年 平成23年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施						
交通量変動		B／C=4. 3（交通量-10%）		B／C=5. 5（交通量+10%）		
事業費変動		B／C=4. 5（事業費+10%）		B／C=5. 4（事業費-10%）		
事業期間変動		B／C=4. 5（事業期間+20%）		B／C=5. 2（事業期間-20%）		
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保						
・並行路線である国道58号に集中する交通が分散し、並行区間の交通量が約10%減少。【76,325台/日→68,625台/日】（未整備→完成2車線）						
・渋滞損失時間が約19%削減。【790万人・時間/年→約637万人・時間/年】（未整備→完成2車線）						
・国道58号の平均旅行速度が約1.6倍向上。【14.7km/h→23.5km/h】（未整備→完成2車線）						
・北谷町役場から那覇空港までの所要時間が約37%短縮。【59分→37分】（未整備→完成2車線）						
②個性ある地域の形成						
・浦添北道路が供用することで沖縄コンベンションセンター周辺の宜野湾海浜公園やビーチ、マリーナを含めた宜野湾コンベンションエリアの利便性の向上とエリア周辺の活性化が期待される。						
・那覇空港から沖縄コンベンションセンターまでの所要時間が約41%短縮。【34分→20分】（未整備→完成2車線）						
③地球環境の保全						
・CO2排出量が約0.5万t-CO2/年削減（約0.2%）削減【205.4万t-CO2/年→204.9万t-CO2/年】（未整備→完成2車線）						
④生活環境の改善・保全						
・NO2排出量が約38.2t/年削減（約16.5%）削減【231.8t/年→193.7t/年】（未整備→完成2車線）						
・SPM排出量が約3.7t/年削減（約16.7%）削減【22.0t/年→18.3t/年】（未整備→完成2車線）						
関係する地方公共団体等の意見						
沖縄西海岸道路は、沖縄本島の道路網の骨格となる地域高規格道路であり、車社会である本県の振興発展に極めて重要な役割を担うものである。現在、延長約50kmの全長の各区間にて鋭意事業が推進されている。						
浦添北道路は、その沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道58号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和や浦添市周辺の地域交流の促進に寄与する道路である。						

沖縄西海岸道路の事業効果については、暫定供用している豊見城道路などの区間で渋滞緩和や豊崎タウンへの企業立地促進などの事業効果が発現されており、事業の投資効果の有効性がすでに明らかとなっている。

また、今年8月には、那覇西道路が暫定供用され国道58号等の交通渋滞の緩和や所用時間の短縮などの事業効果が発現されている。このように事業効果については、各区間の暫定的な部分供用において明らかとなっている。

沖縄西海岸道路の進捗状況をみると延長50kmのうち、糸満道路が平成23年度に暫定2車線での全線供用予定、臨港道路浦添線が平成27年度供用予定とされている。浦添北道路が全線2車線供用すれば、平成20年代後半に沖縄西海岸道路の糸満道路から宜野湾バイパス間の暫定供用が可能となる。

沖縄西海岸道路の全線を結び早期の暫定供用するため、浦添北道路の早期整備が必要と考える。

したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。

事業評価監視委員会の意見

・対応方針（原案）に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・現道58号は、交通量が7～8万台/日以上、混雑度は1.98まで増加している。⇒交通渋滞の緩和
- ・ピーク時旅行速度は14.7km/hと、慢性的な渋滞が発生している。⇒交通渋滞の緩和
- ・牧港補給地区跡地利用基本構想（案）が平成21年度に策定。⇒地域の活性化

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は約20%、用地取得率は約73%（平成23年度末見込み）。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・平成20年代後半の全線暫定2車線供用に向け事業を継続中。

施設の構造や工法の変更等

- ・工法の変更等によるコスト縮減に努めながら事業を推進。

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は当初から変わらず、事業を継続する必要があるため。

事業概要図

位置図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道58号 浦添北道路
事業主体	沖縄総合事務局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チェックの指標
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている 全 体：費用便益比 (B/C) = 3.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 623億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 13.0%) 該事業：費用便益比 (B/C) = 4.9 (経済的純現在価値 (B-C) = 674億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 17.3%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活かな な モビリティの 確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	当該区間及び並行区間について：浦添北道路、国道58号、国道330号、県道153号線 ・当該区間の渋滞損失時間：整備なし790万人・時間/年、整備あり637万人・時間/年 ・当該区間の渋滞損失削減率：約19%削減
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道58号(区間：牧港～屋富祖)の旅行速度 ・現況(国道58号)： 14.7km/h(H17センサス区間：1019) ・将来(国道58号)： 23.5km/h(区間：牧港～屋富祖)【8.8km/h改善】
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	国道58号を利用する既存バスルートの定時性の確保が期待される。 ⇒沖縄バス、東陽バス、琉球バスが運行 計894便/日(平日)〔国道58号(牧港バス停) 系統数：18系統〕
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	北谷町役場から那覇空港までの旅行時間 ・現況(国道58号)： 59分 ・将来(完成供用)： 37分【22分短縮】
	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	北谷町役場から那覇新港までの旅行時間 ・現況(国道58号)： 51分 ・将来(完成供用)： 29分【22分短縮】
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	
物流効率化 の支援	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	沖縄県の広域道路マスタープランにおいて、那覇都市圏における外環状道路として位置付けられている。
	■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	浦添市による牧港補給地区跡地利用基本構想(案)を支援する。
	□ 中心市街地内で行う事業である	
	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		☒ 地域高規格道路の位置づけあり	平成6年に「沖縄西海岸道路」が地域高規格道路に指定され、その一部を形成している。
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☐ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☒ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	浦添市による牧港補給地区跡地利用基本構想（案）を支援する。
		☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	那覇空港から沖縄コンベンションセンターまでの旅行時間 ・現況（国道58号）： 34分 ・将来（完成供用）： 20分【14分短縮】
		☒ 特別立法に基づく事業である	沖縄振興特別措置法（平成十四年三月三十一日法律第十四号）
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	☐ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる ☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する ☐ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり ☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する ☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） ☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される ☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する ☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する ☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する ☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	国道58号は第1次緊急輸送道路に位置付けられている。 並行する国道58号は、第1次緊急輸送道路に位置付けられており、浦添北道路は迂回路としての機能が期待される。
	4. 環境	地球環境の保全 ☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 生活環境の改善・保全 ☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 ☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率 ☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある ☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	CO2排出削減量：約0.5万t-CO2/年 （整備なし205.4—整備あり204.9万t-CO2/年） （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：国道58号（牧港交差点～城間交差点） 排出削減量：38.2t/年 排出削減率：約2割削減 （整備なし231.8—整備あり193.7t/年） （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：国道58号（牧港交差点～城間交差点） 排出削減量：3.7t/年 排出削減率：約2割削減 （整備なし22.0—整備あり18.3t/年）
	5. その他	他のプロジェクトとの関係 ☒ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている ☒ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり ☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている その他 ☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	浦添市都市計画マスタープランの中で、広域都市軸として位置づけられている。 浦添北道路の南端は現道の国道58号に合流しないため、南端に接続する沖縄西海岸道路及び臨港道路浦添線等との一体的な整備が求められている。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・B P・その他の別
一般国道58号	浦添北道路	L=2.0km	地域高規格	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
26,000	2	沖縄総合事務局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成23年度		
単純合計	241億円	21億円	261億円
うち残事業分	191億円	21億円	211億円
基準年における 現在価値 (C)	217億円	7.0億円	223億円
うち残事業分	166億円	7.0億円	173億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成23年度			
供 用 年	平成30年度			
単年便益 (初年便益)	44億円	4.1億円	1.3億円	49億円
基準年における 現在価値 (B)	752億円	72億円	23億円	846億円
うち残事業分	752億円	72億円	23億円	846億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	3.8
経済的純現在価値（事業全体）	623億円
経済的内部収益率（事業全体）	13.0%
費用便益比（残事業）	4.9
経済的純現在価値（残事業）	674億円
経済的内部収益率（残事業）	17.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	26,000台/日	±10%	4.3～5.5
事業費	191億円	±10%	4.5～5.4
事業期間	6年	±20%	4.5～5.2

交通状況の変化

様式－3①

事業名：浦添北道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 〔浦添北道路： 2.0km〕		交通量	[台/日]	26,000	
		走行時間	[分]	4.0	
		走行時間費用	[億円/年]	19	
②主な周 辺道路	現道(国 道58号) ：4.4km	交通量	[台/日]	78,600	71,200
		走行時間	[分]	13	11
		走行時間費用	[億円/年]	181	141
	国道330 号 ：2.7km	交通量	[台/日]	71,400	65,200
		走行時間	[分]	5.5	5.1
		走行時間費用	[億円/年]	69	58
	(県)153 号 ：1.5km	交通量	[台/日]	55,100	53,800
		走行時間	[分]	5.6	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	54	51
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 延長：1,372km		走行時間費用	[億円/年]	7,496	7,485

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,383km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,801	7,753	47

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－3①

事業名：浦添北道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 〔浦添北道路： 2.0km〕		交通量	[台/日]	26,000	
		走行時間	[分]	4.0	
		走行時間費用	[億円/年]	19	
②主な周 辺道路	現道 (国 道58号) ： 4.4km	交通量	[台/日]	78,600	71,200
		走行時間	[分]	13	11
		走行時間費用	[億円/年]	181	141
	国道330 号 ： 2.7km	交通量	[台/日]	71,400	65,200
		走行時間	[分]	5.5	5.1
		走行時間費用	[億円/年]	69	58
	(県) 153 号 ： 1.5km	交通量	[台/日]	55,100	53,800
		走行時間	[分]	5.6	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	54	51
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 延長：1.372km		走行時間費用	[億円/年]	7,496	7,485

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,383km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,801	7,753	47

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：浦添北道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒	
	その他	☐	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成23年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)
		複数時点での推計	☐
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐
		その他()	☐
		無	☒
	開発交通量の考慮	有	☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日
			考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	☐
		転換率式を用いた配分	☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐
		簡易手法	☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である
山間部海岸部で併行道路が少ない			☐
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	その他の()	☐	
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☒	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線等が混在 した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重 平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	☐	
	採用理由を記載		
その他の()		☐	

便益の算定

費用の現在価値算定表

様式-4

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.22	2.0	0.43

箇所名: 浦添北道路(事業全体)

基準年 H 23

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-12年目	H 18	1.2167	92.5	2.7	3.2		
-11年目	H 19	1.1699	91.7	0.93	1.1		
-10年目	H 20	1.1249	91.2	5.5	6.1		
-9年目	H 21	1.0816	90.0	11	12		
-8年目	H 22	1.0400	90.0	11	12		
-7年目	H 23	1.0000	90.0	18	18		
-6年目	H 24	0.9615	90.0	31	30		
-5年目	H 25	0.9246	90.0	36	33		
-4年目	H 26	0.8890	90.0	23	20		
-3年目	H 27	0.8548	90.0	28	24		
-2年目	H 28	0.8219	90.0	29	24		
-1年目	H 29	0.7903	90.0	44	35		
供用開始年次	H 30	0.7599	90.0			0.41	0.31
1年目	H 31	0.7307	90.0			0.41	0.30
2年目	H 32	0.7026	90.0			0.41	0.29
3年目	H 33	0.6756	90.0			0.41	0.28
4年目	H 34	0.6496	90.0			0.41	0.27
5年目	H 35	0.6246	90.0			0.41	0.26
6年目	H 36	0.6006	90.0			0.41	0.25
7年目	H 37	0.5775	90.0			0.41	0.24
8年目	H 38	0.5553	90.0			0.41	0.23
9年目	H 39	0.5339	90.0			0.41	0.22
10年目	H 40	0.5134	90.0			0.41	0.21
11年目	H 41	0.4936	90.0			0.41	0.20
12年目	H 42	0.4746	90.0			0.41	0.19
13年目	H 43	0.4564	90.0			0.41	0.19
14年目	H 44	0.4388	90.0			0.41	0.18
15年目	H 45	0.4220	90.0			0.41	0.17
16年目	H 46	0.4057	90.0			0.41	0.17
17年目	H 47	0.3901	90.0			0.41	0.16
18年目	H 48	0.3751	90.0			0.41	0.15
19年目	H 49	0.3607	90.0			0.41	0.15
20年目	H 50	0.3468	90.0			0.41	0.14
21年目	H 51	0.3335	90.0			0.41	0.14
22年目	H 52	0.3207	90.0			0.41	0.13
23年目	H 53	0.3083	90.0			0.41	0.13
24年目	H 54	0.2965	90.0			0.41	0.12
25年目	H 55	0.2851	90.0			0.41	0.12
26年目	H 56	0.2741	90.0			0.41	0.11
27年目	H 57	0.2636	90.0			0.41	0.11
28年目	H 58	0.2534	90.0			0.41	0.10
29年目	H 59	0.2437	90.0			0.41	0.10
30年目	H 60	0.2343	90.0			0.41	0.10
31年目	H 61	0.2253	90.0			0.41	0.09
32年目	H 62	0.2166	90.0			0.41	0.09
33年目	H 63	0.2083	90.0			0.41	0.09
34年目	H 64	0.2003	90.0			0.41	0.08
35年目	H 65	0.1926	90.0			0.41	0.08
36年目	H 66	0.1852	90.0			0.41	0.08
37年目	H 67	0.1780	90.0			0.41	0.07
38年目	H 68	0.1712	90.0			0.41	0.07
39年目	H 69	0.1646	90.0			0.41	0.07
40年目	H 70	0.1583	90.0			0.41	0.06
41年目	H 71	0.1522	90.0			0.41	0.06
42年目	H 72	0.1463	90.0			0.41	0.06
43年目	H 73	0.1407	90.0			0.41	0.06
44年目	H 74	0.1353	90.0			0.41	0.06
45年目	H 75	0.1301	90.0			0.41	0.05
46年目	H 76	0.1251	90.0			0.41	0.05
47年目	H 77	0.1203	90.0			0.41	0.05
48年目	H 78	0.1157	90.0			0.41	0.05
49年目	H 79	0.1112	90.0	-15	-1.7	0.41	0.05
合 計				225	217	21	7.0

単純事業費計		241	21
--------	--	-----	----

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

様式-4

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.22	2.0	0.43

箇所名: 浦添北道路(残事業)

基準年 H 23

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
ー6年目	H 24	0.9615	90.0	31	30		
ー5年目	H 25	0.9246	90.0	36	33		
ー4年目	H 26	0.8890	90.0	23	20		
ー3年目	H 27	0.8548	90.0	28	24		
ー2年目	H 28	0.8219	90.0	29	24		
ー1年目	H 29	0.7903	90.0	44	35		
供用開始年次	H 30	0.7599	90.0			0.41	0.31
1年目	H 31	0.7307	90.0			0.41	0.30
2年目	H 32	0.7026	90.0			0.41	0.29
3年目	H 33	0.6756	90.0			0.41	0.28
4年目	H 34	0.6496	90.0			0.41	0.27
5年目	H 35	0.6246	90.0			0.41	0.26
6年目	H 36	0.6006	90.0			0.41	0.25
7年目	H 37	0.5775	90.0			0.41	0.24
8年目	H 38	0.5553	90.0			0.41	0.23
9年目	H 39	0.5339	90.0			0.41	0.22
10年目	H 40	0.5134	90.0			0.41	0.21
11年目	H 41	0.4936	90.0			0.41	0.20
12年目	H 42	0.4746	90.0			0.41	0.19
13年目	H 43	0.4564	90.0			0.41	0.19
14年目	H 44	0.4388	90.0			0.41	0.18
15年目	H 45	0.4220	90.0			0.41	0.17
16年目	H 46	0.4057	90.0			0.41	0.17
17年目	H 47	0.3901	90.0			0.41	0.16
18年目	H 48	0.3751	90.0			0.41	0.15
19年目	H 49	0.3607	90.0			0.41	0.15
20年目	H 50	0.3468	90.0			0.41	0.14
21年目	H 51	0.3335	90.0			0.41	0.14
22年目	H 52	0.3207	90.0			0.41	0.13
23年目	H 53	0.3083	90.0			0.41	0.13
24年目	H 54	0.2965	90.0			0.41	0.12
25年目	H 55	0.2851	90.0			0.41	0.12
26年目	H 56	0.2741	90.0			0.41	0.11
27年目	H 57	0.2636	90.0			0.41	0.11
28年目	H 58	0.2534	90.0			0.41	0.10
29年目	H 59	0.2437	90.0			0.41	0.10
30年目	H 60	0.2343	90.0			0.41	0.10
31年目	H 61	0.2253	90.0			0.41	0.09
32年目	H 62	0.2166	90.0			0.41	0.09
33年目	H 63	0.2083	90.0			0.41	0.09
34年目	H 64	0.2003	90.0			0.41	0.08
35年目	H 65	0.1926	90.0			0.41	0.08
36年目	H 66	0.1852	90.0			0.41	0.08
37年目	H 67	0.1780	90.0			0.41	0.07
38年目	H 68	0.1712	90.0			0.41	0.07
39年目	H 69	0.1646	90.0			0.41	0.07
40年目	H 70	0.1583	90.0			0.41	0.06
41年目	H 71	0.1522	90.0			0.41	0.06
42年目	H 72	0.1463	90.0			0.41	0.06
43年目	H 73	0.1407	90.0			0.41	0.06
44年目	H 74	0.1353	90.0			0.41	0.06
45年目	H 75	0.1301	90.0			0.41	0.05
46年目	H 76	0.1251	90.0			0.41	0.05
47年目	H 77	0.1203	90.0			0.41	0.05
48年目	H 78	0.1157	90.0			0.41	0.05
49年目	H 79	0.1112	90.0	-4.1	-0.46	0.41	0.05
合 計				187	166	21	7.0

単純事業費計		191	21
--------	--	-----	----

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名： 浦添北道路 (事業全体・残事業)

年次	年度 (基準年) H 23	総走行台数の年次伸び率 (沖縄ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター H23 90.0	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 30	1.00365	1.00484	1.02032	1.00490	0.7599	90.0	33	6.5	3.8	44	33	3.0	0.49	0.54	4.1	3.1	1.3	1.00	49	37
1年目	H 31	1.00363	1.00481	1.01992	1.00487	0.7307	90.0	34	6.5	3.9	44	32	3.0	0.49	0.55	4.1	3.0	1.3	0.97	49	36
2年目	H 32	1.00522	1.00538	1.03022	1.00687	0.7026	90.0	34	6.5	4.0	44	31	3.1	0.49	0.56	4.1	2.9	1.3	0.94	50	35
3年目	H 33	1.00520	1.00535	1.02934	1.00682	0.6756	90.0	34	6.5	4.1	44	30	3.1	0.49	0.58	4.1	2.8	1.4	0.91	50	34
4年目	H 34	1.00517	1.00532	1.02850	1.00677	0.6496	90.0	34	6.6	4.2	45	29	3.1	0.49	0.60	4.2	2.7	1.4	0.88	50	33
5年目	H 35	1.00514	1.00529	1.02771	1.00673	0.6246	90.0	34	6.6	4.4	45	28	3.1	0.49	0.62	4.2	2.6	1.4	0.86	51	32
6年目	H 36	1.00512	1.00526	1.02696	1.00668	0.6006	90.0	34	6.7	4.5	45	27	3.1	0.49	0.64	4.3	2.6	1.4	0.83	51	31
7年目	H 37	1.00509	1.00523	1.02626	1.00664	0.5775	90.0	35	6.7	4.6	46	26	3.2	0.49	0.66	4.3	2.5	1.4	0.80	51	30
8年目	H 38	1.00507	1.00521	1.02558	1.00660	0.5553	90.0	35	6.7	4.7	46	26	3.2	0.49	0.68	4.3	2.4	1.4	0.78	52	29
9年目	H 39	1.00504	1.00518	1.02495	1.00655	0.5339	90.0	35	6.8	4.8	46	25	3.2	0.49	0.70	4.4	2.3	1.4	0.75	52	28
10年目	H 40	1.00501	1.00515	1.02434	1.00651	0.5134	90.0	35	6.8	5.0	47	24	3.2	0.49	0.72	4.4	2.3	1.4	0.73	53	27
11年目	H 41	1.00499	1.00513	1.02376	1.00647	0.4936	90.0	35	6.8	5.1	47	23	3.2	0.49	0.74	4.5	2.2	1.4	0.71	53	26
12年目	H 42	0.99305	0.99503	1.00057	0.99398	0.4746	90.0	35	6.8	5.2	47	23	3.2	0.49	0.76	4.5	2.1	1.4	0.68	53	25
13年目	H 43	0.99300	0.99500	1.00057	0.99394	0.4564	90.0	35	6.8	5.2	47	22	3.2	0.49	0.76	4.5	2.0	1.4	0.65	53	24
14年目	H 44	0.99295	0.99498	1.00057	0.99391	0.4388	90.0	35	6.8	5.2	47	21	3.2	0.49	0.76	4.5	2.0	1.4	0.62	53	23
15年目	H 45	0.99290	0.99495	1.00057	0.99387	0.4220	90.0	35	6.8	5.2	47	20	3.2	0.49	0.76	4.4	1.9	1.4	0.60	52	22
16年目	H 46	0.99285	0.99493	1.00057	0.99383	0.4057	90.0	34	6.7	5.2	46	19	3.2	0.49	0.76	4.4	1.8	1.4	0.57	52	21
17年目	H 47	0.99280	0.99490	1.00057	0.99379	0.3901	90.0	34	6.7	5.2	46	18	3.1	0.49	0.76	4.4	1.7	1.4	0.54	52	20
18年目	H 48	0.99275	0.99487	1.00057	0.99375	0.3751	90.0	34	6.7	5.2	46	17	3.1	0.49	0.76	4.4	1.6	1.4	0.52	52	19
19年目	H 49	0.99269	0.99485	1.00057	0.99371	0.3607	90.0	34	6.6	5.2	45	16	3.1	0.49	0.76	4.4	1.6	1.4	0.49	51	18
20年目	H 50	0.99264	0.99482	1.00057	0.99367	0.3468	90.0	33	6.6	5.2	45	16	3.1	0.49	0.76	4.3	1.5	1.4	0.47	51	18
21年目	H 51	0.99259	0.99479	1.00057	0.99363	0.3335	90.0	33	6.6	5.2	45	15	3.1	0.49	0.76	4.3	1.4	1.4	0.45	51	17
22年目	H 52	0.99253	0.99477	1.00057	0.99359	0.3207	90.0	33	6.5	5.2	45	14	3.0	0.49	0.76	4.3	1.4	1.3	0.43	50	16
23年目	H 53	0.99247	0.99474	1.00057	0.99355	0.3083	90.0	33	6.5	5.2	44	14	3.0	0.49	0.76	4.3	1.3	1.3	0.41	50	15
24年目	H 54	0.99242	0.99471	1.00056	0.99351	0.2965	90.0	32	6.5	5.2	44	13	3.0	0.49	0.76	4.3	1.3	1.3	0.39	50	15
25年目	H 55	0.99236	0.99468	1.00056	0.99347	0.2851	90.0	32	6.5	5.2	44	12	3.0	0.49	0.76	4.2	1.2	1.3	0.37	49	14
26年目	H 56	0.99230	0.99465	1.00056	0.99343	0.2741	90.0	32	6.4	5.2	44	12	3.0	0.49	0.76	4.2	1.2	1.3	0.36	49	13
27年目	H 57	0.99224	0.99463	1.00056	0.99338	0.2636	90.0	32	6.4	5.2	43	11	2.9	0.49	0.76	4.2	1.1	1.3	0.34	49	13
28年目	H 58	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.2534	90.0	31	6.4	5.2	43	11	2.9	0.49	0.76	4.2	1.1	1.3	0.32	48	12
29年目	H 59	0.99212	0.99457	1.00056	0.99329	0.2437	90.0	31	6.3	5.2	43	10	2.9	0.49	0.76	4.2	1.0	1.3	0.31	48	12
30年目	H 60	0.99206	0.99454	1.00056	0.99325	0.2343	90.0	31	6.3	5.2	42	9.9	2.9	0.49	0.76	4.1	0.97	1.3	0.30	48	11
31年目	H 61	0.99199	0.99451	1.00056	0.99320	0.2253	90.0	31	6.3	5.2	42	9.5	2.9	0.49	0.76	4.1	0.93	1.3	0.28	47	11
32年目	H 62	0.99227	0.99464	1.00056	0.99340	0.2166	90.0	30	6.2	5.2	42	9.1	2.8	0.49	0.76	4.1	0.89	1.2	0.27	47	10
33年目	H 63	0.99224	0.99463	1.00056	0.99338	0.2083	90.0	30	6.2	5.2	42	8.7	2.8	0.49	0.76	4.1	0.85	1.2	0.26	47	9.8
34年目	H 64	0.99222	0.99462	1.00056	0.99337	0.2003	90.0	30	6.2	5.2	41	8.3	2.8	0.49	0.76	4.1	0.81	1.2	0.24	47	9.3
35年目	H 65	0.99220	0.99461	1.00056	0.99335	0.1926	90.0	30	6.2	5.2	41	7.9	2.8	0.49	0.76	4.0	0.78	1.2	0.23	46	8.9
36年目	H 66	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.1852	90.0	29	6.1	5.2	41	7.6	2.8	0.49	0.76	4.0	0.74	1.2	0.22	46	8.5
37年目	H 67	0.99217	0.99459	1.00056	0.99333	0.1780	90.0	29	6.1	5.2	41	7.2	2.7	0.49	0.76	4.0	0.71	1.2	0.21	46	8.1
38年目	H 68	0.99216	0.99459	1.00056	0.99332	0.1712	90.0	29	6.1	5.2	40	6.9	2.7	0.49	0.76	4.0	0.68	1.2	0.20	45	7.8
39年目	H 69	0.99216	0.99459	1.00056	0.99332	0.1646	90.0	29	6.0	5.2	40	6.6	2.7	0.49	0.76	4.0	0.65	1.2	0.19	45	7.4
40年目	H 70	0.99216	0.99459	1.00056	0.99333	0.1583	90.0	29	6.0	5.2	40	6.3	2.7	0.49	0.76	3.9	0.62	1.2	0.18	45	7.1
41年目	H 71	0.99218	0.99460	1.00056	0.99333	0.1522	90.0	28	6.0	5.2	40	6.0	2.7	0.49	0.76	3.9	0.60	1.2	0.18	45	6.8
42年目	H 72	0.99219	0.99460	1.00056	0.99335	0.1463	90.0	28	5.9	5.2	39	5.7	2.6	0.49	0.76	3.9	0.57	1.1	0.17	44	6.5
43年目	H 73	0.99219	0.99460	1.00056	0.99334	0.1407	90.0	28	5.9	5.2	39	5.5	2.6	0.49	0.76	3.9	0.54	1.1	0.16	44	6.2
44年目	H 74	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.1353	90.0	28	5.9	5.2	39	5.2	2.6	0.49	0.76	3.9	0.52	1.1	0.15	44	5.9
45年目	H 75	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.1301	90.0	27	5.9	5.2	39	5.0	2.6	0.49	0.76	3.8	0.50	1.1	0.14	43	5.7
46年目	H 76	0.99218	0.99460	1.00056	0.99333	0.1251	90.0	27	5.8	5.2	38	4.8	2.6	0.49	0.76	3.8	0.48	1.1	0.14	43	5.4
47年目	H 77	0.99217	0.99460	1.00056	0.99333	0.1203	90.0	27	5.8	5.2	38	4.6	2.5	0.49	0.76	3.8	0.46	1.1	0.13	43	5.2
48年目	H 78	0.99218	0.99460	1.00056	0.99333	0.1157	90.0	27	5.8	5.2	38	4.4	2.5	0.49	0.76	3.8	0.44	1.1	0.12	43	4.9
49年目	H 79	0.99218	0.99460	1.00056	0.99334	0.1112	90.0	27	5.7	5.2	38	4.2	2.5	0.49	0.76	3.8	0.42	1.1	0.12	42	4.7
合 計								1,585	318	250	2,153	752	147	25	36	208	72	64	23	2,425	846

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
浦添北道路	宜野湾市宇地泊～浦添市港川	2	2.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万)	備考
①工事費					16,385	
	改良費				3,504	
		土工	m ³	74,373	71	切土(16,709m ³)、盛土(56,141m ³)、捨土(1,523m ³)
		法面工	m ²	4,908	17	切土(3,988m ²)、盛土(920m ²)
		排水構造物工	式	1	104	
		函渠工	m	23	27	
		擁壁工	式	1	367	
		仮栈橋工	式	1	2,070	
		築堤工	式	1	146	
		排水構造物撤去工	式	1	8	
		発掘調査	式	1	86	
		雑工	式	1	609	
	橋梁費				12,204	牧港橋梁、港川橋梁
		100m以上	m	1,120	12,204	
		100m未満	m	-	-	
	トンネル費				0	
		NATM	m	-	-	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所	-	-	
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費				377	
		車道舗装(本線)	m ²	29,873	332	
		車道舗装(側道)	m ²	2,934	42	
		歩道舗装(側道+宜野湾BP)	m ²	537	3	
	付帯施設費				300	
		交通管理施設工	式	-	-	
		遮音壁	m	-	-	
		標識・付属施設・電気設備	式	1	300	
②用地及補償費					5,254	
	用地費		m ²	29,600	1,529	
		宅地	m ²	29,600	1,529	
		田畑	m ²	0	0	
		山林・原野	m ²	0	0	
	補償費		式	1	3,725	
③間接経費			式	1	3,361	地質調査、測量、設計にかかる費用および予備費
全体事業費					25,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用。

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用。

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
浦添北道路	宜野湾市宇地泊～浦添市港川	2	2.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万)	備考
①工事費					15,294	
	改良費				2,568	
		土工	m3	74,373	71	切土(16,709m3)、盛土(56,141m3)、捨土(1,523m3)
		法面工	m2	4,908	17	切土(3,988m2)、盛土(920m2)
		排水構造物工	式	1	104	
		函渠工	m	23	27	
		擁壁工	式	1	367	
		仮栈橋工	式	1	1,194	
		築堤工	式	1	146	
		排水構造物撤去工	式	1	8	
		発掘調査	式	1	58	
		雑工	式	1	577	
	橋梁費				12,049	牧港橋梁、港川橋梁
		100m以上	m	1,120	12,049	
		100m未満	m	-	-	
	トンネル費				0	
		NATM	m	-	-	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所	-	-	
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費				377	
		車道舗装(本線)	m ²	29,873	332	
		車道舗装(側道)	m ²	2,934	42	
		歩道舗装(側道+宜野湾BP)	m ²	537	3	
	付帯施設費				300	
		交通管理施設工	式	-	-	
		遮音壁	m	-	-	
		標識・付属施設・電気設備	式	1	300	
②用地及補償費				2,231		
	用地費	m ²	12,315	413		
		宅地	m ²	12,315	413	
		田畑	m ²	0	0	
		山林・原野	m ²	0	0	
	補償費	式	0	1,818		
③間接経費		式	1	2,416	地質調査、測量、設計にかかる費用および予備費	
残事業費				19,941		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用。

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用。

参考様式2

路線名	箇所名	車線数	延長
浦添北道路	宜野湾市字宇地泊～浦添市字港川	2	2.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.0	650	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	1,500	橋梁2橋
維持管理費合計			2,150	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。